



# 大樹のこころ

## 美しい運動会

10月22日(土)心地よい天候に恵まれて、運動会が行われました。令和4年度、全校児童が集まった初めての行事。多くの保護者の皆様に観ていただくことができ、嬉しく思いました。子供たちも、いつも以上に張り切って活動することができました。

1・2年生の表現ダンスは「サチアレ」。ご覧になられて気付かれたかもしれませんが、子供たちが実に楽しそうに踊っていました。この秘密は先生方の指導にあります。ダンスの練習において、教師が子供たちを叱責する場面がありませんでした。逆に子供たちを褒めて褒めて「楽しい気分」にする指導を行ってくれました。その成果が、今日の日の子供たちの姿です。子供たちの笑顔が美しい表現でした。

3・4年生の「一天濤快」はかなり激しい表現ダンスです。学校によっては高学年で発表されるもの。そんな難しいダンスに挑戦した中学年でしたが、キレッキレの踊りを披露してくれました。この「一天濤快」のダンスも印象に残りましたが、それ以上に感動したのが、子供たちの動きです。集合・整列の素早さ。「気を付け」「休め」の正確さ。そして無言になる時と友達を応援する時のめりはり。中学年の子供たちは、運動会を通して本当に大きく成長したと感じました。めりはりの美しさを見せてくれました。

5・6年生の「家康の自立」。本校伝統の群像劇です。この「家康の自立」を表現したいと、大樹寺の児童は誰もが憧れを抱いています。劇中に組体操的な要素も取り入れ、華やかに演じてくれました。この表現運動では「静止の美」を見せてくれました。流麗な動きも見応えがありますが、全ての子供たちがピタリと動きを止めるときにも美しさが生まれます。動と静の美しさ。さすが高学年と言わざるを得ません。この「家康の自立」を練習する中で、5・6年生の心に「自覚と責任感」という本当の自立が育まれていったのではないのでしょうか。

演技以外にも美しさがたくさんありました。友達に声援を送る姿。リレーで勝利した学級への温かな拍手。教師のきびきびとした動き。そして保護者の皆様の歓声や拍手。大樹寺小の運動場には、様々な美しさが溢れていました。この運動会を通して、自分は「大樹寺小の子供たち」「大樹寺小学校の伝統」

をますます好きになりました。まさに100点満点。素晴らしく、そして美しい運動会でした。

中根市長も来校され「家康の自立」をご覧になりました。子供たちの表現をととても褒めていただきました。大河ドラマ「どうする家康」に合わせて、ますます大樹寺学区の注目が高まっています。

